

オプトアウト

《研究課題名》

腱板断裂患者に対する腱板修復術前後の上腕骨頭位置の変化と背景要因の解明について

《研究対象者》

2018 年 4 月 1 日から 2024 年 3 月 31 日の間に滋賀医科大学医学部附属病院・整形外科において入院し、腱板断裂の診断にて鏡視下腱板修復術（ARCR）を受けられた方

研究協力をお願い

滋賀医科大学において上記研究課題名の研究を行います。この研究は、対象となる方の滋賀医科大学で既に保有している情報を用いて行う研究であり、研究目的や研究方法は以下の通りです。試料・情報の使用について、直接ご説明して同意はいただきず、このお知らせをもって説明に代えさせていただきます。対象となる方におかれましては、研究の主旨・方法をご理解いただきますようお願い申し上げます。

なお、本研究への試料・情報の提供を希望されない場合、あるいは、本研究に関するご質問は下記（８）の問い合わせ先へご連絡ください。

（１）研究の概要について

《研究期間》 滋賀医科大学学長許可日～2026 年 4 月 30 日

《研究責任者》 滋賀医科大学大学院 整形外科学講座 村西壽祥

（２）研究の意義、目的について

《意義》

鏡視下腱板修復術の前後で肩関節の位置関係（上腕骨頭の偏位）の程度や変化を評価し、その背景となる断裂部位や大きさ、腱板の状態、肩関節機能について明らかにすることにより、腱板断裂の特性に応じた整形外科的治療の計画や術前後のリスク要因の把握と予防を含めたりハビリテーションの構築に寄与すると考えています。

《目的》

鏡視下腱板修復術前後における肩関節の位置関係(上腕骨頭の偏位)について定量的評価を行い、上腕骨頭偏位が減少する方と残存する方の背景となる要因を明らかにすることです。

（３）研究の方法について

《研究の内容》

2018 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日に滋賀医科大学附属病院整形外科にて鏡視下腱板修復術を受けられ、整形外科外来に通院された方の過去の診療記録から以下の情報を使用します。手術前後の画像情報から肩関節の位置関係とそれに関係する背景を分析します。

《利用し、又は提供する試料・情報の項目》

基本的な情報（年齢、性別、身長、体重、疾患名、既往歴、合併症、病歴、術側、利き手、就労

オプアウト

状況、断裂サイズ、手術してからの期間、リハビリ歴、内服状況、レントゲン/MRI など画像所見、再断裂の有無

診療上で得られた情報（質問紙で聴取した日常生活や肩機能における満足度、肩関節可動域、筋力、痛み、肩機能評価、認知機能などのカルテ情報）

《試料・情報の管理について責任を有する者》

国立大学法人 滋賀医科大学 学長 上本 伸二

（４）個人情報等の取扱いについて

本研究を実施する際には、あなたの試料・情報から、あなたを特定できる情報（氏名、生年月日、住所等）を除き、代わりに本研究用の ID を付けることで、その試料・情報が誰のものであるか分からない状態にします。ただし、必要な場合に特定の個人を識別できるように、あなたと ID を結び付けることができるような加工をした情報を残します。尚、加工された情報は、施錠できる場所で担当者によって厳重に管理されます。

（５）研究成果の公表について

本研究の成果は学会発表、学術雑誌などで公表します。公表の際には個人が特定されることがないように、十分配慮いたします。

（６）研究計画書等の入手又は閲覧

本研究の対象となる方又はその代理人の方は、希望される場合には、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で本研究に関する研究計画書等の資料を入手・閲覧することができます。ご希望の場合には、下記（８）の問い合わせ先へご連絡ください。

（７）利用又は提供の停止

本研究の対象となる方又はその代理人の求めに応じて、対象者の方の試料・情報を本研究に利用（又は他の研究に提供）することについて停止することができます。停止を求められる場合には、下記（８）にご連絡ください。

（８）本研究に関する問い合わせ先

担当者：滋賀医科大学 整形外科学講座 村西壽祥

住所：520-2192 滋賀県大津市瀬田月輪町

電話番号：077-548-2252

メールアドレス：muranisi@belle.shiga-med.ac.jp